

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 千葉県 白井市

自治体名：千葉県白井市

担当課名：教育委員会学校政策課

電話番号：047-401-9445

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報（令和6年5月時点）

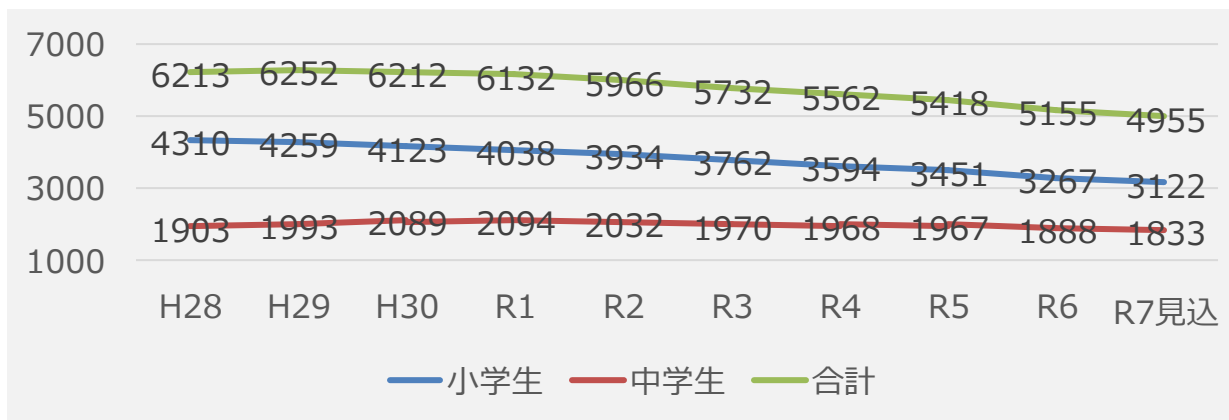
面積	総面積35,480 km <sup>2</sup>
人口	62,103 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	1,888 人
部活動数	59 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	令和7年度設置予定
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	令和7年度策定予定

## 地域展開における市区町村の現状・課題

現在、市内中学校5校において、59部活動が活動しているが、学区によって体験格差がある。具体的には、陸上競技部やバスケットボール部、吹奏楽部が全校に設置されている一方で、硬式テニス部や柔道部は1校にしか設置がない。

これを受けて本市では、子どもたちがこれからもスポーツや文化芸術活動に生き生きと取り組むことができるように、本年度より本格的に学校部活動体制の見直しに取り組んでいる。学校部活動を「そのまま地域に移す」のではなく、「地域ぐるみで広げ展開していく」という発想から、白井市では「地域展開」と呼ぶこととしている。

現在の大きな課題としては、生徒の不利益とならないような大会への参加方法、これまで築かれてきた「部活動観」の再構築などが挙げられる。運營業務を委託した令和8年度までの3年間で、これら始めとした課題をひとつひとつクリアしながら、地域の人材や企業を巻き込んだ運営体制を形にしなければならない。

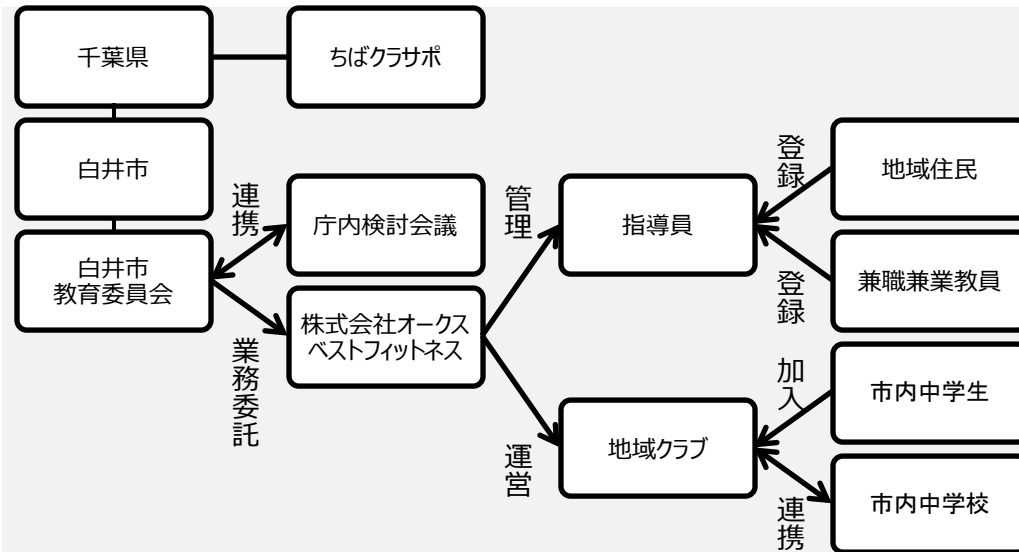


出典：市内小中学校一覧・児童生徒数

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・ 学校政策課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携
- ・ 生涯学習課…関係団体との連絡・調整

##### ◎首長部局

- ・ 財政課…予算措置
- ・ 企画政策課…企業版ふるさと納税の検討

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月	教職員への意識調査
令和6年8月	業務委託プロポーザル審査
令和6年9月	業務委託先と契約締結
	教職員への意識調査
令和6年10月	生徒及び保護者への意識調査
	保護者向け説明会
令和6年11月	6種目の地域展開開始
令和7年1月	参加者への意識調査
令和7年2月	教職員への意識調査
令和7年3月	保護者向け説明会

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	5校	実施した地域クラブ総数	6クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域展開した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		6クラブ（14部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導員数	15人	全体の運営スタッフ数	2人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導員数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
白井陸上競技クラブ	白井市教育委員会	陸上競技	月4回	土曜午前	1年:32人 2年:34人	R6.11～	白井市立白井中学校	3人	2人（内、兼務2人）	会費無料	中体連：部活動 その他：地域クラブ
白井卓球クラブ	白井市教育委員会	卓球	月4回	日曜午前	1年:10人 2年:13人	R6.12～	白井市立七次台中学校	2人	2人（内、兼務2人）	会費無料	中体連：部活動 その他：地域クラブ
白井ソフトボールクラブ	白井市教育委員会	ソフトボール	月4回	土曜午前	1年:10人 2年:6人	R6.11～	白井市立七次台中学校	3人	2人（内、兼務2人）	会費無料	中体連：部活動 その他：地域クラブ
白井硬式テニスクラブ	白井市教育委員会	硬式テニス	月4回	日曜午後	1年:7人 2年:18人	R6.11～	白井市立大山口中学校	2人	2人（内、兼務2人）	会費無料	中体連：部活動 その他：地域クラブ
白井柔道クラブ	白井市教育委員会	柔道	月4回	土曜午前	1年:1人 2年:7人	R6.11～	白井市立大山口中学校	2人	2人（内、兼務2人）	会費無料	中体連：部活動 その他：地域クラブ
白井剣道クラブ	白井市教育委員会	剣道	月4回	土曜午前	1年:24人 2年:14人	R6.11～	白井市立南山中学校	2人	2人（内、兼務2人）	会費無料	中体連：部活動 その他：地域クラブ

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

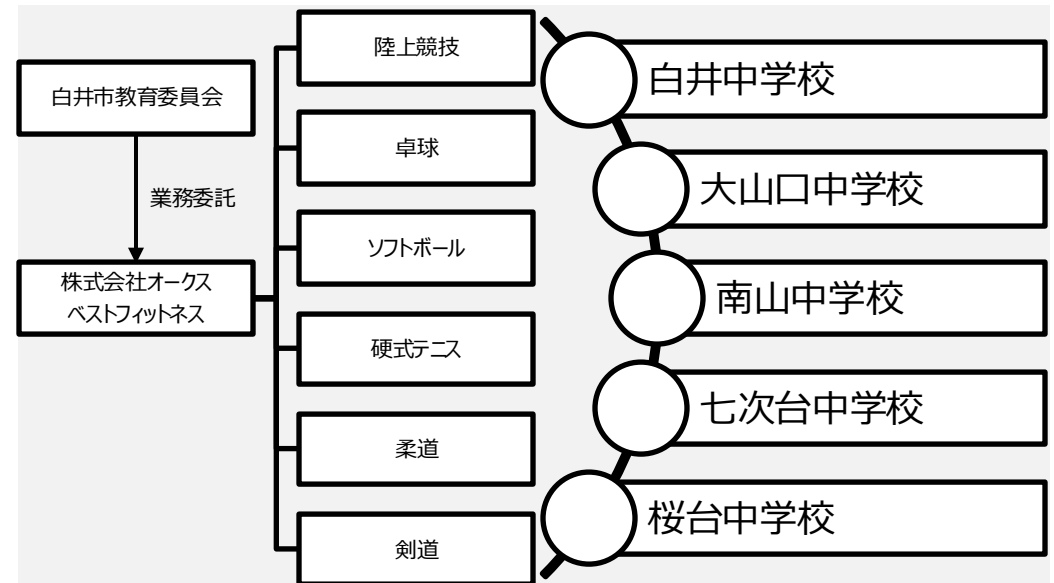
- 各クラブにおいて、それぞれ1回の体験会を実施した。

## 主な取組例

### ● 白井市各地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技、卓球、ソフトボール、硬式テニス、柔道、剣道
運営団体名	白井市教育委員会 ※株式会社オークスベストフィットネスに業務委託
期間と日数	各種目：11月16日～3月30日 月4回程度
指導員の主な属性	地域住民、中学校教員
活動場所	白井中学校、大山口中学校、南山中学校、七次台中学校
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導員1人あたり：1,850円/年

### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ● 指導員や運営スタッフなどの役割分担等

- ・ 統括コーディネーター 1名  
役割：全体工程の管理、関係者の調整、実施計画の策定等を行う
- ・ エリアマネージャー 1名  
役割：問合せの窓口対応、調査の分析、報告書の作成等を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導員の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

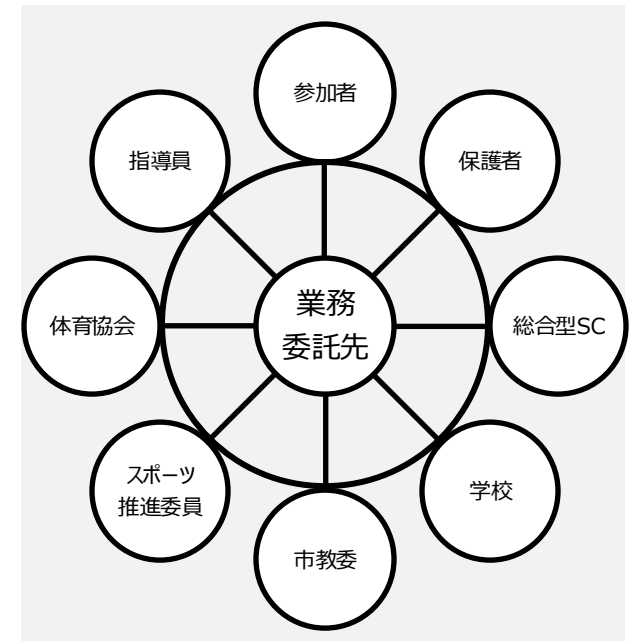
#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 業務委託先の2名がコーディネーターとなり、学校や関係団体との連絡調整を行った。
- 参加者の登録、連絡、スケジュール管理などにアプリを活用した。

##### 取組の成果

- コーディネーターの配置により、関係団体との効果的な連携を図り、連絡調整や情報共有を比較的円滑に行うことができた。
- 市の総合型地域スポーツクラブや体育協会、スポーツ推進委員に向けた説明会を実施し、理解を得ることができた。
- 業務委託先のアプリの活用により、参加者登録や出欠、スケジュールの共有などを一元的に行うことができた。



##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ほぼ毎回活動場所を巡回し、活動の補助やヒアリングを実施
- 関係団体との連絡調整を行い、連携に尽力
- 学校、参加者（保護者）、指導員への連絡調整を実施

##### 今後の課題と対応方針

- 業務委託終了後のコーディネート業務を担える人材を発掘する方策の検討を行う。
- 連携できる関係団体を拡大し、より地域を巻き込んだ運営・実施を行っていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導員の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導員の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- 指導を希望する教職員を、兼職兼業の指導員として優先的に配置した。
- 市専用の地域クラブ活動指導員募集サイトを開設し、指導員を募集した。
- 指導員に対し、指導を開始する前にオンラインで研修を実施した。

##### 指導員の人数

合計15名  
 ( 男性10名 )  
 ( 女性 5名 )

##### 登録者属性

- 職業
- ・ 教職員
  - ・ 会社員
  - ・ 主婦
  - ・ 学生

##### 種目

- ・ 陸上競技
- ・ 卓球
- ・ ソフトボール
- ・ 硬式テニス
- ・ 柔道
- ・ 剣道

##### 資格等

- ・ 教員免許
- ・ 審判員

##### 指導者研修の内容

- ・ 主な研修内容は、安全管理・事故対応、ハラスメント防止、コーチング学・コンプライアンスなど。

##### 受講者の声

- ・ オンライン・オンデマンド形式なので、自分のタイミングで受講できたのでよかった。

##### 取組の成果

- 各クラブ2名以上の指導員を確保できた。
- 千葉県に設置されている人材バンクも活用し、指導員を確保した。
- 指導員全員が、指導開始前に研修を受講した。

##### 今後の課題と対応方針

- 種目によっては参加者の人数が多いため、指導員の人数を増やす必要がある。
- 市の募集サイトの認知度が高いとは言えず、より効果的に周知をしていかなければならないが、同時に、質の確保とのバランスを見極めていくことが重要である。
- オンラインの研修だけでなく、ワークショップ形式などの対面式の研修を検討していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導員の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

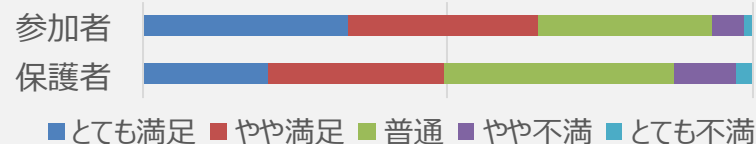
##### 取組事項

- 学校部活動からの円滑な移行とするため、活動内容等はできるだけ学校部活動から引き継いだ。
- 参加者や保護者にアンケート調査を実施した。

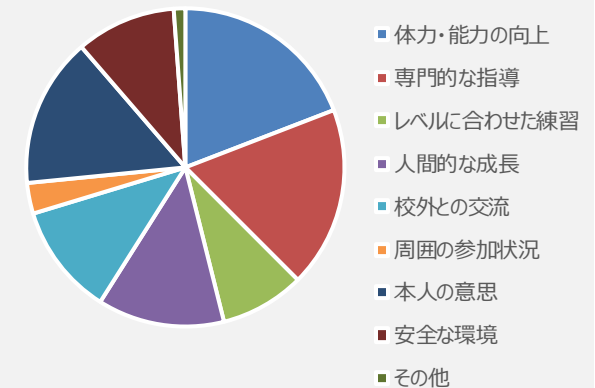
##### 取組の成果

- 活動の参加者である中学生及びその保護者を対象としたアンケートの結果、参加者の65%、保護者の50%が指導員のサポートに肯定的だった。
- また、活動に参加するうえで重視していることについて聞いたところ、様々なニーズがあることが確認でき、柔軟な地域クラブ体制の需要があることがわかった。

指導員のサポートについて



参加するうえで重視していること



出典：白井市地域クラブアンケート（令和7年1月実施）

##### 今後の課題と対応方針

- 参加者や保護者の指導員のサポートに対する不満の原因を明確にしていかなければならない。
- 生徒が地域クラブ活動の実施・運営に主体的に参画できる場の設定を検討していく。また、保護者も運営に参画できる仕組みを構築する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導員の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

- 地域クラブの運営にあたっては、持続可能な体制を構築する必要があるが、今年度は地域展開の理解を深めるためにも、会費は無料とした。
- 適切な会費の設定について、調査・検討を行った。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■クラブ運営費用

- ・ 事務局人件費
- ・ 選手登録料
- ・ システム利用料
- ・ 雑役務費

##### ■クラブ活動費用

- ・ 指導員謝金
- ・ 保険料
- ・ 研修費用
- ・ 消耗品費
- ・ 大会参加費

…など

…など

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

- ・ 他自治体の状況などを参考に、月会費3,000円程度として設計している。

##### 収支バランス

- ・ 次年度から月額会の会費制を開始し、検証していく。

##### 取組の成果

- 会費を無料として敷居が下がった結果、75%の生徒が学校部活動から地域クラブに移行した。
- 運営費用と活動費用が少しずつ明確になってきている。
- 調査・検討を行う中で、持続可能な運営のための会費制の必要性を、保護者に周知することができた。

##### 今後の課題と対応方針

- 会費制について、さらなる発信をして理解を得ることが重要である。
- 各種助成金や企業版ふるさと納税、クラウドファンディング等を効果的に活用して、公平かつ適切な参加費用負担の設定について研究していかねばならない。そのためには、他自治体との横のつながりの強化が必要である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導員の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- 参加費用を適正な額にして持続可能な運営とすることや、参加者の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動が実施できるように調整を行った。
- 活動拠点となる学校を訪問し、事業への協力及び施設の利用について調整を行った。

##### 取組の成果

- 活動場所を学校規模に応じた拠点校形式にすることで、バランスよく活動を展開することができた。
- 学校体育施設を利用することで、ある程度の参加者の安全を確保できている。
- 活動開始前の訪問などにより顧問を含めた学校側の理解を深めることで、その後の調整がスムーズになった。

大山口中：硬式テニス・柔道

七次台中：卓球・ソフトボール

白井中：陸上競技

南山中：剣道

##### 今後の課題と対応方針

- 実証事業の活動日に多種目の学校部活動を実施している学校もあることから、活動場所が競合しないように理解と協力を求める。
- 学校体育施設の利用環境を整え、社会体育などの他団体との住み分けを進める。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

白井市では、実証事業1年目は学校部活動から地域クラブ活動への円滑な移行を目指して本事業に取り組んだ。

プロポーザル審査により業務委託先を選定したことにより、専門的なノウハウを生かし、かつ本市の現状に合ったコーディネートが、スピード感をもってなされている。その中で学校や関係団体との連携を図り、浮き上がる課題にその都度対応しながら、3年間をかけて地域クラブの運営体制を整備していく土台の構築ができたと捉えている。

ただ、指導員の確保や活動内容の充実、参加費用の検討については、一定の取組はできたものの、改善の余地がある。

部活動改革はこれまでになかった新しい取組であり、参加の促進、指導のさらなる充実、大会への参加形態、そして会費の設定及び徴収と、クリアすべきものは大きい。子どもたちの休日の選択肢を増やし、地域の活性化につなげたい。

#### ●成果の評価

75%（約170名）の生徒が地域クラブに移行したことは、学校と市教委、業務委託先が協力して参加を促した成果と言えるが、当初目標とした250名には及ばなかった。これは、活動開始時期がずれこんだことが最大の理由である。

参加者に対するアンケートでは、80%以上が「不満はない」と回答しており、地域クラブに対する期待感が高まっていることが示された。

また、様々な意見を交換する中で、改めて部活動についてそれぞれが考え、見直す機会となっていることも非常に大きな成果である。

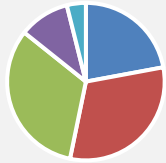
#### ●今後に向けて

次年度は、実証事業2年目となることから、今年度の取組を強化するとともに、関係団体・分野との連携強化や、面的・広域的な取組にも取り組んでいく。そのためには、参加者からの定期的なフィードバックをもとに内容を見直し、柔軟な運営体制を整えていくことが重要である。

## アンケート結果・参加者の声

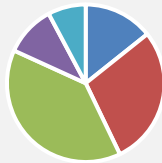
### ●アンケート結果

Q.現在の地域クラブに参加している満足度を教えてください。(参加者)



- とても満足 ■ やや満足
- 普通 ■ やや不満
- とても不満

Q.現在の地域クラブに参加している満足度を教えてください。(保護者)



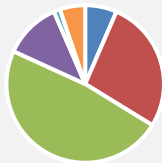
- とても満足 ■ やや満足
- 普通 ■ やや不満
- とても不満

Q.活動の頻度や1日の活動時間についてはいかがですか？



- ちょうどよい
- 増やしてほしい
- 減らしてほしい

Q.参加費用が発生する場合、いくらまでであれば参加させたいと思いますか？



- 0円 ■ 1000円
- 2000円 ■ 3000円
- 4000円 ■ 5000円

### ●参加者の声

#### 中学2年生（柔道）

地域クラブになったらどうなるのか不安だったが、今まで通りの練習ができていたのでよかった。

#### 中学2年生（硬式テニス）

体験会の際は時間も短く基礎的なことだけだったので物足りなさを感じたけど、そのあとはゲームの時間を長くってくれたりして楽しい。

#### 指導員（剣道）

複数の学校生徒が集まって合同で練習することになるので生徒たちがうまくやれるのか心配していたが、すぐに慣れて仲良くなっている姿を見て感心した。

#### 指導員（ソフトボールなど）

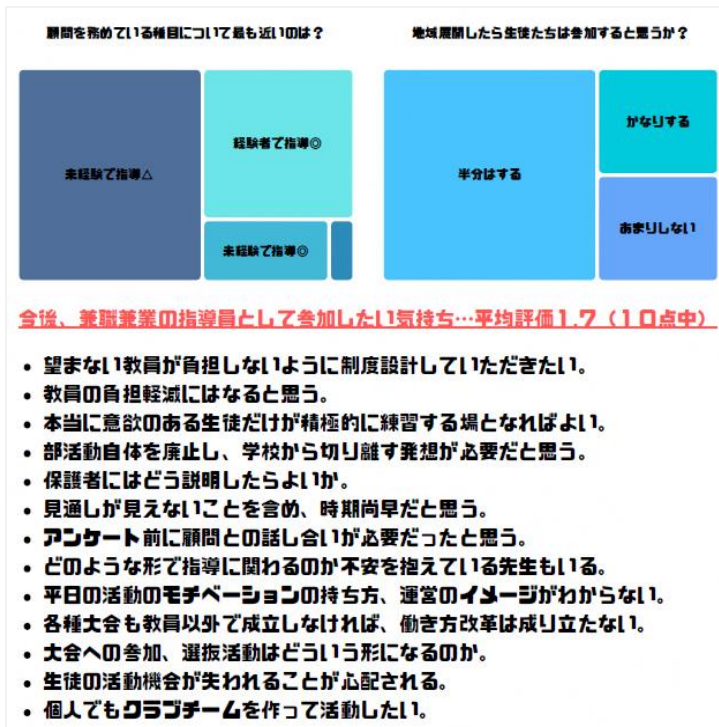
参加生徒に技術レベルの差があって指導方法が難しい。初心者に合わせてと経験者は物足りなく感じるだろうし、経験者に合わせると初心者についてはついてこれないので、兼ね合いが難しい。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

令和6年度は、教職員を対象としたアンケートを3回、生徒及び保護者を対象としたアンケートを2回、実施した。教職員へのアンケートにおいては、兼職兼業指導員の参加希望は2割以下だった。また、地域展開に対する様々なご意見をいただいた。

それらの結果や必要な情報については、リーフレットの形でそれぞれにフィードバックしている。



【アンケート結果】

出典:部活動地域展開家庭向けリーフレットvol.03



【家庭向けリーフレット】

出典:部活動地域展開先生方向向けリーフレットvol.02

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【陸上競技クラブ：アップ】



【卓球クラブ：個別指導】



【硬式テニスクラブ：フットワーク】



【剣道クラブ：全体指導】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

庁内検討会議  
設置

令和6年

業務委託先の  
選定

指導員の選定  
学校との調整

令和7年

生徒、保護者へ  
の説明  
地域展開開始

協議会の設置  
地域展開拡大

令和8年

休日の地域展開  
完了

#### ステークホルダー

学校、体育協会、スポーツ推進委員、県教委、  
市長部局、市教委、業務委託先（コーディネーター）

#### 経過

令和5年度より庁内検討会議を設置して学校部活動の改革について検討を重ね、令和6年度にプロポーザル審査によって運営業務を民間事業者に委託し、地域展開を進めることとした。

令和6年度、審査により委託先を選定・契約し、必要な準備を経て地域展開を開始した。

#### 実施内容

令和6年11月から6種目の休日の学校部活動を廃止し、市内全域から参加可能な地域クラブを立ち上げた。業務委託先と協議の結果、会費については試験的に1年間無料、会場は拠点校形式としている。

#### 実施にあたって生じた課題

会場の鍵や学校備品、AED等の取扱いについて、責任の所在が指摘された。キーボックスやAEDの増設などの整備について、庁内の関係部局と協議を進めていく。

また、今後の地域クラブでの大会参加にあたっては、子どもたちの不利益にならないような方法と、学校側の負担とのバランスに大きな課題があることがわかってきた。小中体連にヒアリングをし、連携を強化している。

#### 今後の展開

令和7年秋からは、市内すべての休日の学校部活動を廃止し、代替となる地域クラブを立ち上げる。また、持続可能な運営体制とするために会費制を開始する。参加者や保護者の理解を得るために、リーフレットや動画を作成・配信し、理解と協力を得られるようにする。

## 地域展開の推進に向けたロードマップ

### 運営業務を事業者に委託

#### 令和6年度

- 陸上競技
- 卓球
- ソフトボール
- 硬式テニス
- 柔道
- 剣道

### 休日を完全地域展開

#### 令和7年度

- 軟式野球
- サッカー
- ソフトテニス
- バスケットボール
- バレーボール
- バドミントン
- 吹奏楽
- 美術

### 平日も含めた見直し・整理

#### 令和8年度

- 種目の追加を検討
- 参加対象の拡大（小学生・高校生など）を検討
- 近隣市町からの受入れを検討
- 平日の地域展開について調査・検討

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 千葉県 香取市

自治体名：千葉県香取市

担当課名：学校教育課

電話番号：0478-50-1239

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

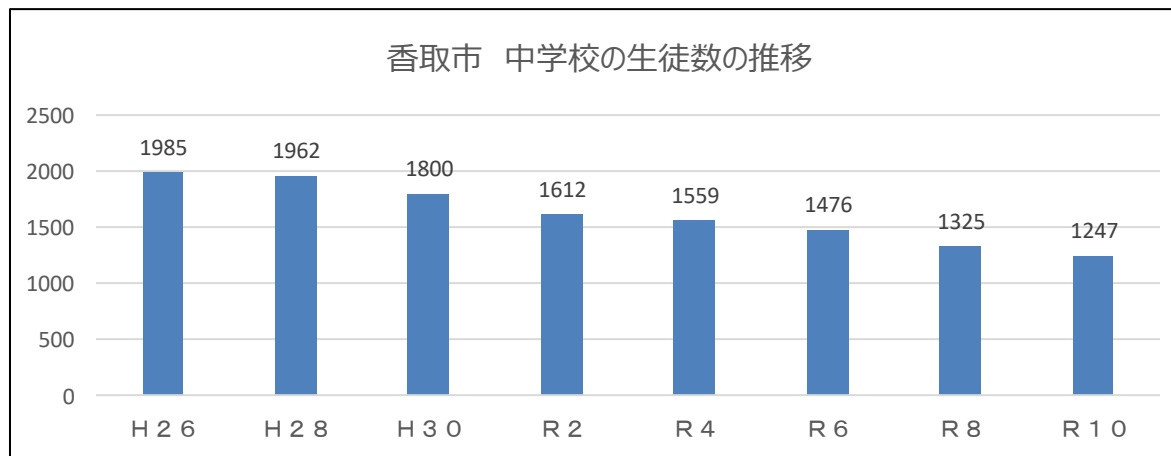
面積	262.35 km <sup>2</sup>
人口	69,484 人
公立中学校数	7 校
公立中学校生徒数	1,473 人
部活動数	59 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市は、平成26年度1985人の生徒が在籍していたが、令和10年には1247人（推定）と約3分の2に減少し、少子化が進むことが予想される。現在、運動部活動種目数は12、文化部活動種目数は6あるが、野球、サッカー、バレーボール等の団体種目については、新人戦から1校ではチーム編成ができず合同チームで出場している学校がある状況である。また、部活動顧問の確保も難しくなっている。さらに、指導種目が未経験という顧問も多く、指導運営に苦慮している。

令和6年度は、中学校2校で1部活動ずつ移行を増やした。部活動の地域移行について、十分周知されていないことへの対応として、保護者や教職員に対しては、学校訪問を実施した。また、ホームページ等の広報活動に取り組んだ。さらに、各スポーツ団体の会議に出席し周知を図った。指導者と練習場所の確保、練習場所への送迎等、まだ課題が残る状況である。教職員の超過勤務解消のためにも、部活動の地域移行をさらに進めていかななくてはならない。

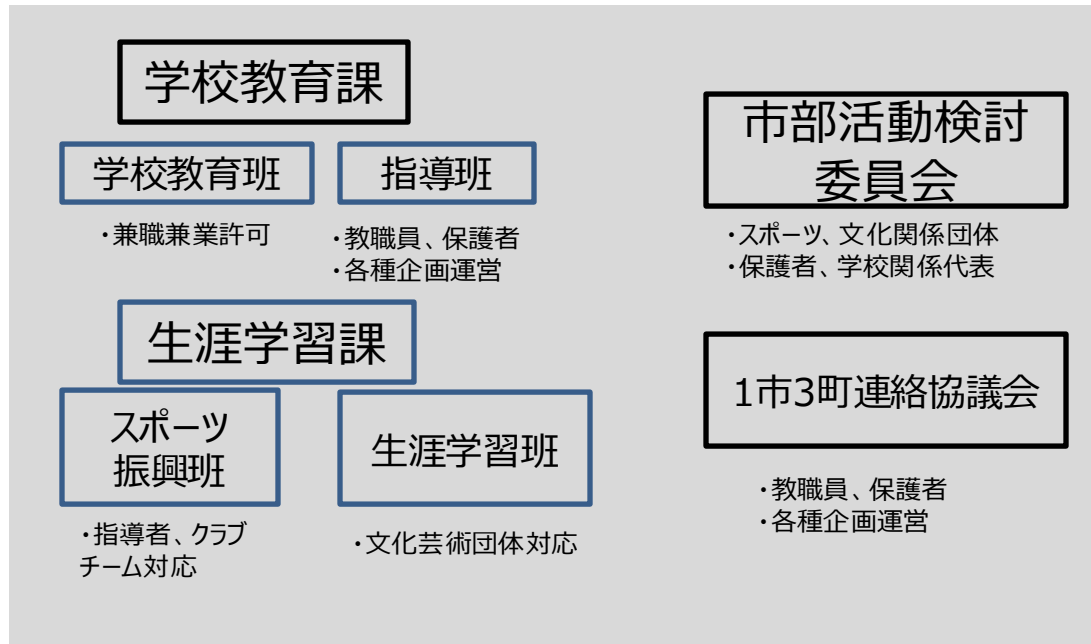
香取市 中学校の生徒数の推移



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校教育課 主に学校関係（教職員、児童生徒、保護者）  
検討委員会の企画運営
- ・生涯学習課 主に社会教育関係団体（スポーツ、文化関係）  
指導者の指導、発掘

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月	県教育委員会と実証事業の委託契約 保護者・教職員へ周知 市ホームページへ掲載
令和6年5月	市第1回検討委員会開催 市関係団体総会にて周知依頼
令和6年6月	中学校生徒用周知文書配付 地域スポーツクラブ視察
令和6年7月	1市3町第1回ガイドライン等検討委員会開催
令和6年9月	市第2回検討委員会開催 1市3町第2回ガイドライン等検討委員会開催
令和6年11月	市第3回検討委員会開催
令和7年1月	市第4回検討委員会開催

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	7校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（8部活）
全体の指導者数	14人	全体の運営スタッフ数	6人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 <small>※新規のものは末尾に（新）を付ける</small>	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
小見川陸上クラブ	地域クラブ	陸上競技	月4回/ 週1回(など)	9時～ 13時	1年生22人 2年生25人 3年生18人	4月～ 3月	佐原中学校 小見川中学校	10人	2人 (内、兼務1人)	年会費 3,200円 保険 800円	地域クラブ
TEAM KATORI	地域クラブ	ソフトテニス	月4回/ 週1回(など)	9時～ 13時	1年生2人 2年生4人	4月～ 3月	山田中学校	2人	2人 (内、兼務1人)	年会費 6,000円 保険 800円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
	道場	剣道	該当中学校（新島）の剣道部生徒が1名のため、休日は学校の練習は行わず道場で実施しているため、地域移行とみなした。								

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 小見川陸上クラブは、地域クラブとして長年活動している団体である。見学や体験は、活動時間に自由に参加できる。
- TEAM KATORIについては、本年度に設立した地域クラブである。設立にあたり、募集チラシを作成したり、体験会を企画したり取り組んでいる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○広域的、総合的な活動を担当する総括コーディネーターと学校・クラブチームを担当する地域コーディネーター、計3名を配置し、関係団体や学校との連絡調整を行い、部活動の地域移行を推進する。

##### コーディネーターの役割

**総括コーディネーター**  
全体調整（1市3町、県関係）  
各学校・管理職を含めた教員への指導・助言

- ① 市の方針作成・修正、学校の意見聴取
- ② 市検討委員会の運営
- ③ 地区協議会（広域）の運営
- ④ 県との連絡調整・会議出席
- ⑤ 学校、関係団体との総括面での連絡調整
- ⑥ ガイドライン作成（委員会開催）
- ⑦ 予算（国・県・市）の確保
- ⑧ ホームページ・市広報 等

##### 地域コーディネーター

学校・地域クラブへの支援・職員の意見聴取

- ① 学校・クラブと連絡・調整・指導
- ② 生徒・保護者・職員への周知
- ③ 兼職兼業職員への指導支援
- ④ 校内委員会支援相談(学校)
- ⑤ 職員・生徒へのアンケート調査、考察
- ⑥ 職員向け不祥事根絶研修
- ⑦ 指導者の派遣・業務調整、報酬支給
- ⑧ クラブ設立支援、相談窓口
- ⑨ 指導者向け研修会開催 等

##### 成果

- 教育委員会内へ専門業務のコーディネーターを3名配置したことで、多方面にわたり事業を推進することができている。
- 学校教育課と生涯学習課が連携協力しやすい体制の整備が構築されてきた。

##### 今後の課題と対応方針

- 先進地区の取組実践や広域での取組が推進するよう積極的に外部と交流を深めていく必要がある。
- 地域移行の取組を周知するために、コーディネーターを中心に、積極的に説明会を開催したり、ホームページを更新したりして、理解を得る。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○1市3町（香取市・神崎町・東庄町・多古町）で、広域連携して部活動の地域移行を推進する。  
○令和6年度は市町版の「学校部活動及び地域クラブ活動に関するガイドライン」を連携して作成する。

- |         |   |
|---------|---|
| 令和6年6月  | 第1回香取地区部活動地域移行連絡協議会<br>・「香取地区部活動地域移行ガイドライン」等検討委員会の準備<br>・広域での地域クラブ、進捗状況情報交換、課題の整理 |
| 令和6年7月  | 第1回香取地区ガイドライン等検討委員会<br>・趣旨説明、国・県の動向、委員長・副委員長選出<br>・香取地区ガイドラインの原案検討、課題の整理          |
| 令和6年9月  | 第2回香取地区ガイドライン等検討委員会<br>・香取地区ガイドラインの修正案検討<br>・今後の予定について確認                          |
| 令和6年10月 | 第2回香取地区部活動地域移行連絡協議会<br>・協議したガイドラインの集約及び調整<br>・進捗状況の情報交換、課題の整理                     |

##### 取組の成果

○1市3町で内容を統一した「運動部活動及び地域クラブ活動に関するガイドライン」を作成し、年度末に発刊することができた。  
○定期的に関催することで、進捗状況を確認することができるとともに、課題を共有できた。



##### 今後の課題と対応方針

○引き続き、定期的に関催することで、情報を共有していきたい。  
○広域クラブチームの設置へ向けて、課題を精査し、推進していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

○他自治体の生徒が参加するクラブの育成を推進する。（「TEAM KATORI」ソフトテニスの設立）

- 令和6年7月 「TEAM KATORI」代表者との面談  
・ソフトテニスクラブの立ち上げについての趣旨説明  
（チーム関係者2名 市教委3名）
- 令和6年8月 「TEAM KATORI」代表者との面談  
・練習場所、時間、会費等、具体的な話し合い  
（チーム関係者2名 市教委4名）
- 令和6年9月 登録票の提出  
・校長会にチラシ配布  
・募集開始  
・香取市公認クラブとして認定
- 令和6年10月 新人戦に地域クラブとして出場する（香取市 銚子市合同ペア）

##### 取組の成果

○他自治体の生徒も参加するクラブ「TEAM KATORI」を設立させた。



##### 今後の課題と対応方針

○広域クラブチームの設置拡大へ向けて、課題を精査し、推進していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組 関係者への周知及び理解促進

##### 取組事項

- 香取市部活動地域移行検討委員会設置
  - ・学校関係、スポーツ文化芸術関係団体、保護者等で構成される協議会を設置し、部活動の地域移行を推進する。

##### 構成メンバー（委員）

- スポーツ、文化・芸術団体 4名
  - ・スポーツ協会 ・スポーツ少年団
  - ・スポーツ推進委員 ・文化芸術協会
- 保護者代表 2名
- 学校関係 5名
  - ・中学校校長会 ・音楽研究部
  - ・小中学校体育連盟 ・教職員代表2名
- 事務局

##### 委員会概要

- 年間4回委員会開催し、推進計画を立案するとともに、事業を推進する。
- 新規事業については、事前に会議で委員より意見を聴取し、反映させる。
- その都度、進捗状況を報告し、計画実践の修正をする。
- 本年度の活動を振り返り、次年度の推進計画を立てる。

##### 取組の成果

- 事業計画を推進する際に、様々な立場から事前に意見を聞くことができたので、計画を修正し、より地域や保護者のニーズにあった事業を推進することができた。
- 検証実践をしている地域クラブのアンケート調査結果を委員会で協議したため、今後地域クラブを設立するうえで、課題等が明確になった。

##### 今後の課題と対応方針

- より推進させるためのアイデアや意見を集めるために、スポーツ・文化芸術団体以外にも、声をかけて委員を募りたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組 関係者への周知及び理解促進

##### 取組事項

○児童生徒、保護者、学校職員、地域、スポーツ・文化団体や協会等、部活動を取り巻く様々な関係者について、部活動地域移行の共通理解を深めるとともに、当事者意識をもって部活動の地域移行を推進していくようにする。

##### 取組の成果

- ・既存の地域クラブや団体から、部活動の地域移行に協力する申し出があり、次年度に向けて具体的な活動体制の整備を進めている。
- ・各競技の小中体連の専門部において、地域移行について協議する機会が増えた。
- ・地域移行を、学校、市教委及び地域が連携しながら進めるという意識を高めることができた。

##### 特に工夫した事項

- ・定期的に学校訪問を行い、地域移行に向けた外部指導者活用の状況や見通しについて共通理解を図った。
- ・中学校と小学校の保護者あてに、内容を考慮して文書を作成した。できるだけ多くの保護者に周知するため、中学校の保護者には年度初めのPTA総会で、小学校6年生の保護者には中学校の新生保護者説明会で、担当者から直接説明する機会を設定した。

##### 周知及び理解促進の事例

「中学校部活動の地域移行」の趣旨やスケジュールについて、各小中学校への文書、市広報誌、市ホームページ等で周知した。さらに各種スポーツ団体や文化団体の総会で、趣旨説明をするとともに、受け入れの協力をお願いした。保護者への文書については、中学校の保護者あてと小学校の保護者あてに、イラストやイメージ図、Q&Aを入れるなど学年に応じて文書を作成した。

各団体から、部活動の地域移行に協力的な声もあり、広域的な取組にもつながられるようにしたい。

##### 今後の課題と対応方針

地域移行の進捗状況や市公認地域クラブの登録状況、移行スケジュール等について、市ホームページの内容を充実させ、学校へのチラシや文書等と併せて更なる周知を図る。また、進捗状況を周知することで、連携・協力へと意識を高めることができるようにしたい。

## 参考資料（保護者あての文書）

令和7年1月16日

各小学校6年生の保護者の方へ  
香取市教育委員会

中学校の休日の部活動について（お知らせ）

中学校には多くの部活動がありますが、部活動に所属する生徒が少なくなったり、部活動を指導できる先生が少なくなったりするなど、十分な活動ができない状況が増えてきました。

これらを解決し、スポーツや文化芸術活動の環境を整えるために、地域の方々に協力してもらい、休日に行っていた学校の部活動を、地域クラブ\*等の活動に移行することができるように取組（部活動の地域移行）を進めています。

\* 地域クラブとは、市の活動ルールに従って活動するクラブで、運営団体・運営主体が、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会、地域ボランティア団体、スポーツ少年団、保護者会等です。

○ 香取市の休日の部活動地域移行状況及びスケジュール（令和6年12月現在）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市内で1つの部活動を地域移行（陸上競技）	各中学校で1つ以上の部活動を地域移行（陸上競技6校・テニス1校・剣道1校）	各中学校で複数の部活動を地域移行※具体的な種目については未定です。	部活動の地域移行を拡充

地域移行していない部活動は、今までどおり継続して活動

※ 令和7年度以降の地域移行に係る具体的な種目については、受け皿となる競技団体や指導者を検討している段階のため未定です。今後、中学校と連携しながら地域移行を進め、その状況をお知らせします。

休日地域クラブ等の活動イメージ（例）

**A 中学校**  
生徒

**B 中学校**  
生徒

**C 中学校**  
生徒

・希望する種目の活動場所へ活動

活動場所

学校

公共施設

野球

陸上競技

卓球

吹奏楽

地域の指導者

- ・公認スポーツ指導者
- ・スポーツ推進委員
- ・退職教員
- ・教員（兼職兼業）
- ・保護者や大学生等

・活動場所へ行き指導を実施

休日の地域クラブ等の活動が始まったときの選択イメージ

平日

学校部活動

入部する

入部しない

休日

A 学校の部活動と同じ種目の地域クラブ活動に参加

B 学校の部活動と違う種目の地域クラブ活動に参加

C 学校の部活動に入部していないが、地域クラブ活動に参加

D 民間や競技団体等のクラブ・教室に参加

E 何も参加しない

**Q&A**

1. 部活動の地域移行（地域クラブ等の活動への移行）によって何が変わるの？

＜指導者＞ 地域クラブ等の指導員が指導することになります。また、専門的知識や技量、指導経験をもち、かつ指導を希望する教職員が指導することもあります。

＜保険＞ 学校部活動は、日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」が適用されますが、地域クラブ等の活動は、活動場所が学校の施設であった場合も、この給付制度が適用されないため、活動中の事故等の補償を受けるには、別途、スポーツ安全保険等への保険加入が必要となります。

2. 令和7年度からの平日の活動はどうなるの？

休日の活動が「地域クラブ等の活動」に移行しても、当分の間、平日の部活動は学校部活動として活動を続けます。

3. 今後、学校単位で行う部活動はなくなるの？

地域移行の準備が整った学校や種目・活動から移行することとしており、それまでは、できる限り、学校の部活動として継続する予定です。


4. 地域移行によって必要となる活動費用はだれが負担するの？

地域移行後の活動費用の負担は、加入する地域クラブ等の実情に応じ、会費等の運営に必要な費用をご負担いただくことになります。

香取市としては、可能な限り、学校施設を活動の場として優先的に利用いただく等、保護者の皆様の負担軽減に努めてまいります。

担当  
香取市教育委員会  
学校教育課 TEL(50)1239  
生涯学習課 TEL(50)1221

## 参考資料（ホームページに掲載したリーフレット）



**香取市**

### 中津安高保重加世成クラブ移行ますの世継行

香取市教育委員会

部活動の地域移行とは？…これまで中学校の教員が担当してきた部活動の指導を、地域クラブや団体などに移行することです。

**なぜ移行するの？**

- 生徒・保護者の多様なニーズがある  
・「もっと活動したい」「上手になりたい」「希望の部活がない」「楽しみたい」など
- 部員数の減少で部活が成立しない
- 担当する顧問が不足している
- 教員に大きな負担がかかる  
・平日（時間外勤務）や休日の指導、引率等  
・未経験種目の指導

**地域移行のメリット**

今まで学校が担ってきた部活動を、地域移行するには多くの課題があります。令和5年度は種目を限定して（陸上競技）モデル事業を開始し、まずは休日に地域指導者の方が指導に当たってきました。令和6年度には各中学校で1部活動以上、令和7年度には各中学校で複数部活動の地域移行を予定しています。

**～部活動の地域移行で目指す姿～**

「生徒自身が目標を持ち、主体的に取り組む活動」を通して、よりよい人間形成を目指します。

- ・「もっと活動したい」「専門的な指導を受けたい」「他の学校の生徒と交流したい」「楽しみたい」など、子どもたちのニーズに応える活動にします。
- ・「指導したい」「伝えたい」「活動を普及させたい」等、地域のニーズに応える活動にします。
- ・現存の部活動だけでなく、子どもたちや地域指導者の希望によって、新しい可能性が広がる活動にします。
- ・各地域の新たなコミュニティの場にします。
- ・地域力を生かし、持続可能な運営・活動を推進します。

**地域の子どもは、学校を含めた地域で育てる**

千葉県「**地域全体で子どもたちを育てる学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン**」を踏まえ、健康に配慮して活動を進めます。

地域の多くの方に参画いただき、新たな地域スポーツ活動・文化活動の構築を目指します。学校職員でも、本人の希望があれば「兼職兼業の許可」により、地域指導者として参加することができます。

- ・子どもの多様な活動の機会
- ・学校を超えた仲間づくり
- ・多様な世代との豊かな交流
- ・専門性の高い指導者からの指導
- ・生涯にわたる継続した活動の機会

運動部活動の設置校数（令和5年度） ※ 香取市内には7つの中学校があります。

部活動名	設置校数	部活動名	設置校数	部活動名	設置校数
陸上競技	6	軟式野球	7	柔道	2
水泳	3	バレーボール	5	剣道	5
バドミントン	5	ソフトテニス	5	ゴルフ	1
サッカー	3	卓球	4	カヌー	1

**指導者は地域から**

- ・指導者を広く地域から募集します。指導者は「スポーツ・文化活動を通して、中学生の健全育成に寄与する志がある方」や兼職兼業を希望する教職員にお願いします。
- ・指導者は、原則としてスポーツ安全保険等に加入します。
- ・千葉県教育委員会では、指導者の登録や紹介を行う「**ちばクラブサポ**（地域クラブ活動人材バンク）」を設置しています。

**部活動と地域移行後の活動の関係は**

- ・まず、平日の部活動を部活動顧問が指導し、休日は地域の指導者が指導にあたります。
- ・部活動顧問と地域の指導者が連携を密にして指導の方向性を共有し、それぞれが持ち味を生かしながら指導にあたります。

**費用について**

**地域移行後の活動に参加するには**

- ・地域移行後の活動には、希望する生徒が参加することになります。あくまで任意の参加です。
- ・平日の部活動に参加していない、あるいは他の部活動に所属していても参加することができます。
- ・新しい種目の活動をはじめめることも可能です。


- ・全員のスポーツ安全保険等への加入を推奨します。（※自己負担）
- ・地域移行後の活動費用の負担は、加入するクラブ等の実情に応じ、会費等の運営に必要な費用をご負担いただくこととなります。（原則として受益者負担となります。）
- ・学校施設や公共施設、用具等は、可能な限り優先して利用できるように検討しています。
- ・使用料については、できる限り減免できるよう検討しています。

**地域や保護者の皆様へ**

本市では、これからの部活動のあり方について検討し、これまで学校が中心であった部活動の運営を地域クラブに移行し、生徒にとってよりよいものにしていきたいと考えています。地域や保護者の皆様には、本市が目指す部活動の地域移行についてご理解いただき、今後の活動にご協力いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

※ 地域クラブの指導に興味のある方は、香取市教育委員会までご連絡ください。

お問い合わせ先  
香取市教育委員会  
学校教育課 TEL0478(50)1239  
生涯学習課 TEL0478(50)1221



## 2.実証内容と成果

### 参考資料（活動写真）

【活動の様子（陸上競技）】



【活動の様子（ソフトテニス）】

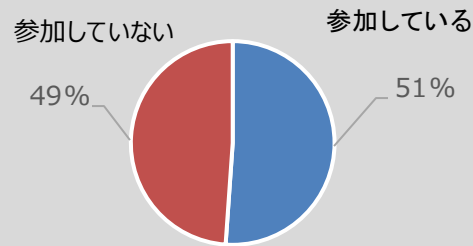


## アンケート結果・参加者の声（陸上競技）

### ●アンケート結果

Q.地域クラブの活動に参加していますか？

回答項目	回答数	割合
参加している	69	51%
参加していない	66	49%

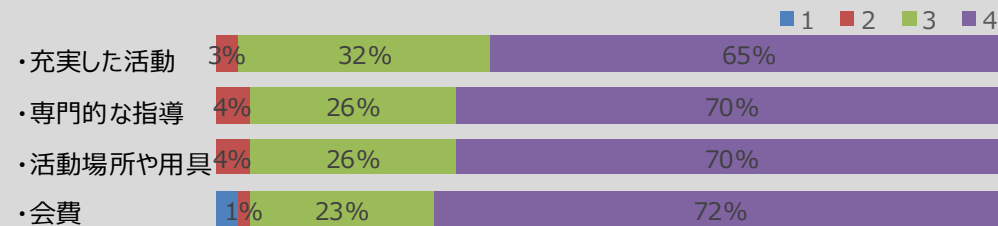


#### ●参加していない理由

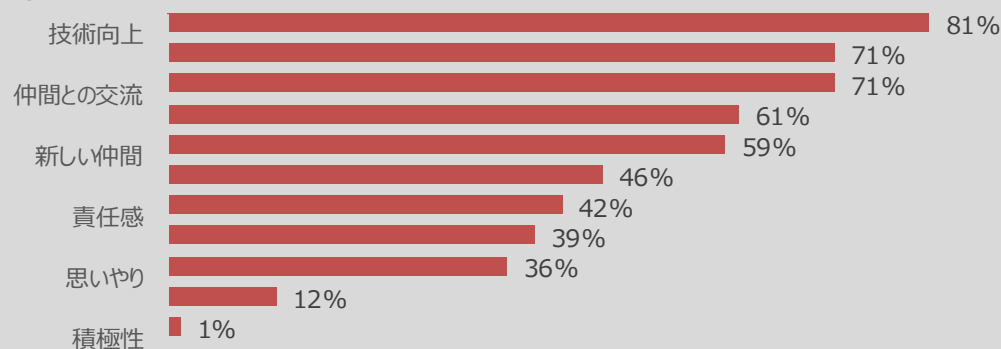
- ・他の活動、習い事等23名
- ・送迎が難しい7名
- ・意欲ない7名
- ・学校でやりたい3名
- ・地域移行に反対1名
- ・けがのため1名
- ・自分に合わない1名
- ・検討中2名

Q.参加している生徒の評価

①評価 1 満足していない 2 あまり満足していない 3 満足している 4 とても満足している



②地域クラブに参加して得たものは？

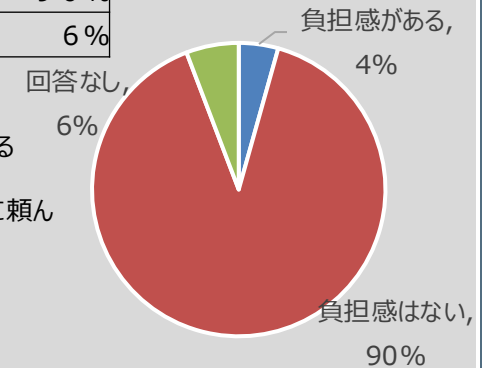


Q.送迎についての負担感は？

回答項目	回答数	割合
負担感がある	3	4%
負担感はない	62	90%
回答なし	4	6%

#### ●負担感がある理由

- ・仕事を中断して送迎している
- ・送迎が重なることがある
- ・仕事で忙しいときは、友人に頼んでいる
- ・自転車で通えるといい



### ●参加者の声

#### 中学生

- ・他校の生徒と練習でき、友達が増えた。
- ・専門的な指導が受けられ、記録が伸びた。
- ・練習が楽しくなり、積極的に行動できるようになった。
- ・投擲（砲丸投げ）の専門コーチがほしい。

#### 保護者

- ・友達が増え、楽しく参加している。
- ・送迎に負担を感じている。自転車で通えるとよい。
- ・設備を充実させてほしい。

## 総括・成果の評価・今後に向けて

### ● 総括

ガイドライン作成に向けた香取地区連絡協議会及び検討委員会を、香取地区 1 市 3 町の広域で 4 回開催し、年度末に各市町のガイドラインを完成させることができました。今後は、このガイドラインに沿って、市内、広域での地域クラブ運営を推進していくことになる。

市検討委員会を 4 回開催し、地域移行の進捗状況の確認や情報共有により、今後の方向性について協議することができた。

地域クラブについては、各中学校で 1 部活動以上の地域移行を進めることができた。また、各中学校の陸上競技部の生徒・保護者アンケート、聞き取り等により、活動状況を把握し、当該クラブの関係者や学校と情報を共有した。

### ● 成果の評価

香取市が中学校 7 校、他 3 町が中学校各 1 校であるため、各市町の地域移行推進の方針が異なっていたが、ガイドライン作成を通じて、市町を超えた広域での取組の方向性を見出すことができた。

外部指導者を足がかりとして、長期的に指導ができる人材の発掘により、地域クラブの設立につなげることができた。また、各競技の専門部と情報を共有することで、地区の大会への参加が可能になった。

### ● 今後に向けて

新たな地域クラブの設立はハードルが高いが、外部指導者として協力をお願いすることから、徐々に指導者を増やしながらクラブ設立につなげていきたい。

吹奏楽部については、団体との交流活動や特定の楽器の指導から始めることが、地域クラブ設立の第一歩となるのではないかとと思われる。

地域クラブの運営を含めた指導者の発掘が大きな課題であり、行政と地域、保護者、学校等が広い視野に立って進めていけるようにしたい。

ガイドラインに示された地域クラブの在り方等を踏まえ、要件や基準等を調整して設定し、市公認地域クラブの認定・登録を進めていきたい。

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 千葉県 山武市

自治体名：千葉県山武市

担当課名：子ども教育課

電話番号：0475-80-1443

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	147 km <sup>2</sup>
人口	47,745 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	966 人
部活動数	41 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定検討中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

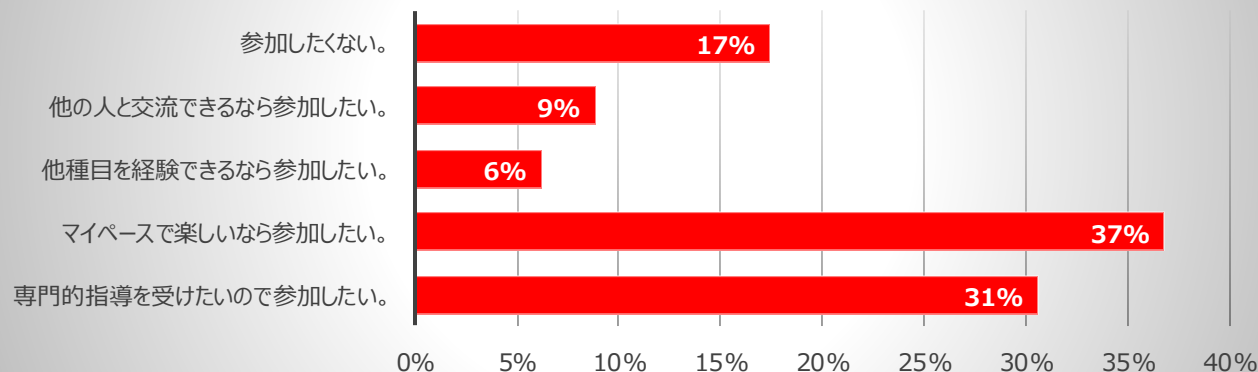
市内に4つの中学校があり、現在10種の運動部と3種の文化部が活動している。生徒数の減少もあり、チームスポーツでは単独でチームを組めず、近隣の中学校と合同チームで大会に参加している部活動もある。

本市では、令和4年10月に、山武市地域部活動検討委員会を設置し、第1回の検討委員会を開催した。国や県の動向や方針および市内中学校の部活動の現状について情報共有し、今後のスケジュール等について協議した。また、市内中学生を対象にWebアンケート調査を実施した結果、部活動に参加している生徒のうち約83%が、休日の地域クラブに参加したいと回

答しており、理由として、専門的な技術指導、楽しい活動等があがった。保護者対象アンケートでは、子どもの休日の地域クラブへの参加について約87%が賛成と回答しており、理由として専門的な技術指導をあげていた。教員は、休日の活動を地域のスポーツクラブに移行することについて約93%が賛成しており、理由として負担の減少、専門的な指導をあげていた。

昨年度は剣道、今年度は陸上競技を実証事業で行ったが、地域のスポーツクラブや指導者が少ないため、移行できる競技が少なく、個人競技は移行しやすいが、団体競技の移行が難しい等の課題もあった。

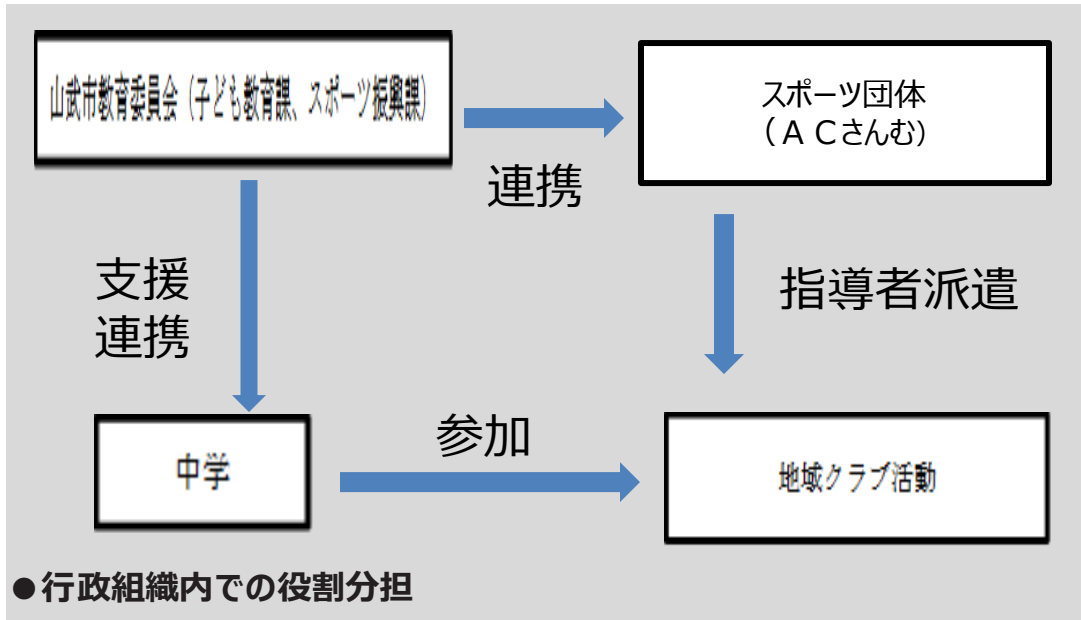
### 休日の地域クラブ活動に参加することについて（生徒）



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会（子ども教育課）

学校との調整（実施日、参加者の把握、実施場所の確保）

##### ◎教育委員会（スポーツ振興課）

団体との調整（指導者の確保、派遣依頼、費用の管理）

### 年間の事業スケジュール

令和6年6月	学校・指導者との打合わせ
令和6年7月	地域スポーツクラブ活動開始 部活動指導者との月例打合せ
令和6年8月	部活動指導者との月例打合せ
令和6年9月	部活動指導者との月例打合せ
令和6年10月	部活動指導者との月例打合せ （実証事業の経過確認）
令和6年11月	部活動指導者との月例打合せ
令和6年12月	部活動指導者との月例打合せ 生徒・保護者等アンケート実施
令和7年1月	部活動指導者との月例打合せ
令和7年2月	事業完了報告書・成果報告書の作成
令和7年3月	学校との打合せ 実証事業の 成果と課題

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		ACさんむ（2部活）
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	7人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
ACさんむ	スポーツクラブ	陸上競技	週1回（土日祝）	9:00～12:00	中1 8名 中2 7名	令和6年7月6日～令和7年2月22日まで	成東総合運動公園	3人	7人	期間内無料 ※本来年会費12000円	部活動単位での参加を基本とする

#### ③ACさんむ主催の大会等

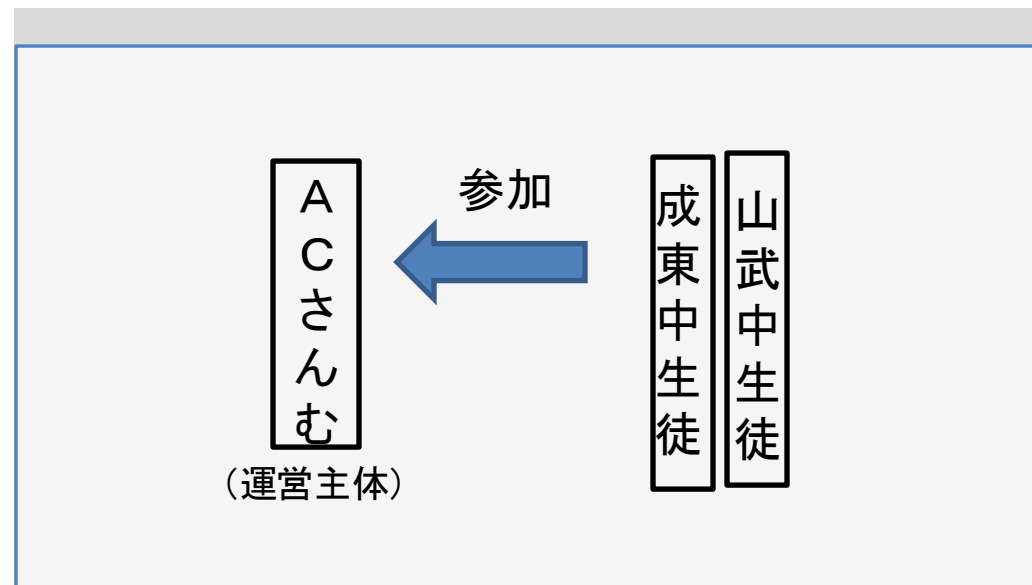
- 陸上競技記録会……年1 2回程度開催
- 山武郡市民スポーツ大会陸上競技代表選考会……7月開催
- リレーマラソン大会……1 2月開催
- 陸上教室……年1 1回程度開催
- 山武郡市民駅伝競走大会陸上競技代表選考会……1 2月開催
- 新春長距離記録会……1月開催

## 主な取組例

### ● ACさんむ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	ACさんむ
期間と日数	令和6年7月6日～ 令和7年2月22日 週1回(土日)程度
指導者の主な属性	ACさんむの指導者
活動場所	成東総合運動公園
主な移動手段	自転車・自家用車送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	月1000円×12か月=12000円(実証事業の生徒は受益者負担無)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり:800円/年 指導者1人あたり:1,850円/

### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者(指導者)  
役割:活動における責任者として、学校、保護者との連携を行う
- 運営補助者 2名  
役割:活動において、主任指導者の補助として指導を行う

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

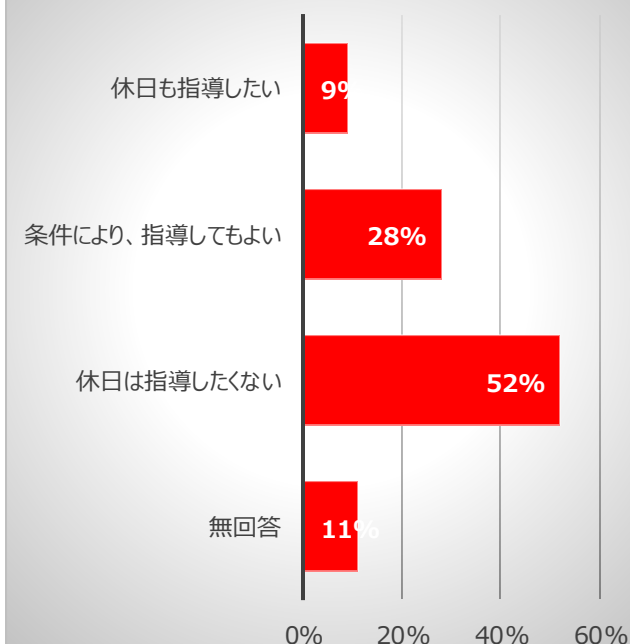
##### 取組事項

- 指導者は学校（顧問）と定期的な打合せをもち、情報共有を行う。活動報告に係る書類を月末に市教委に提出する。市教委は関係者から課題等を聞き取りながら、適切な運営ができるように支援する。
- すでに地域クラブとして活動している団体に、部活動生徒も一緒に活動できる体制を整える。
- 今後継続していくために必要な会費の徴収や連絡体制などを確認する。

##### 取組の成果

- 参加した中学生15人を対象としたアンケートの結果、約7割が「専門的な指導を受けることができよかった」と回答していた。
- 顧問の1人は、「平日・休日とも指導したい」と考えているが、普段は1人で指導しているため、複数で指導してもらえることが生徒のためになり、自分の負担も軽減されると言っていた。別の顧問は、「休日の部活動指導はやらないで良いならやりたくない」と考えており、今後もこのような取り組みを継続していくことで、自分自身の業務改善が進められるだろうと言っていた。
- 完全移行の形ではなく、学校の部活動と連携し、活動日を調整しながら実施しているが、地域クラブ指導者と顧問とで連絡をとりあって実施することができた。

#### 休日も部活動指導をしたいか（教員）



##### 今後の課題と対応方針

- 活動場所から遠い学校は10km以上離れているため、家庭の事情等で送迎が難しいときは参加が困難である。送迎手段を確保してほしいという要望が約5割程度あった。しかし、バスを配置する等は予算的に難しいため、今後も活動を継続していくには、移動手段をどうするかが課題である。
- 去年は剣道、今年度は陸上競技を実証事業で地域移行を行ったが、地域のスポーツクラブや指導者が少ないため、移行できる競技が少ない。今回実施した陸上競技においても、陸上競技の中でもさらに専門の分野があるので、子どもたちのニーズにあった専門家を探すのは難しいと感じた。また、個人競技は移行しやすいが、団体競技の移行はより困難なので、今後は、団体競技の中から地域移行できそうな部活動を選定する予定である。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

昨年度は剣道、今年度は陸上競技で実証事業を行った。どちらも個人競技であることや、市内中学校4校中2校はすでに陸上競技部が廃部となっており、移行は残り2校であるため、比較的移行しやすいと考えたからだ。

また、「ACさんむ」は、小学生から社会人まで幅広い層の人達が活動しているため、入りやすいという利点がある。さらに、中学生だけではないため、教えたり教えられたりするにはとても良い環境であるといえる。

実際に、生徒達はスムーズに練習に入ることができていた。また、専門的に教えてくれる指導者がいることで、部活動だけでは体験できなかった技術的な向上も体感することができたと言っている。

しかし、活動場所が固定しているため、練習場所を迷う必要は無いが、遠くに住んでいる生徒にとっては自力で参加することが難しいため、保護者の送迎に頼らざるを得ないのが課題である。

#### ●成果の評価

○陸上競技部で実証事業を行ったが、2校で15名の参加だったため、特に大きな混乱もなく実施ができた。2校の顧問も指導者のことを知っていたため、連絡もスムーズに行うことができた。

○部活動では専門的な指導を受けることが難しいため、地域クラブに参加して指導を受けることで、生徒達の指導に対する満足度も高まった。また、普段の活動は少人数だが、多くの人と一緒に練習ができ、他校の生徒とも交流ができるようになったのが良かったと言っていた。

○指導者と顧問から、事前の打合せで、この時期に気を付ける点やどのような練習を中心に行うかなどを話し合った上で練習に取り組めたことや、タイムに伸び悩んでいる生徒等についても情報共有できるので、事前の打ち合わせが良かったという意見があった。

#### ●今後に向けて

まずは、陸上競技が完全に移行できるようにするとともに、剣道、陸上競技以外で移行できそうな競技である、ソフトテニス、バスケットボール等が移行できるかどうかを検討する。しかし、チーム競技は、チームとして大会等に参加できるかどうかは鍵となる。また、指導したい教員はいるが、スポーツクラブ等がほとんどないため、現状では部活動として活動するほうが教員、生徒、保護者のニーズに合っている場合もある。

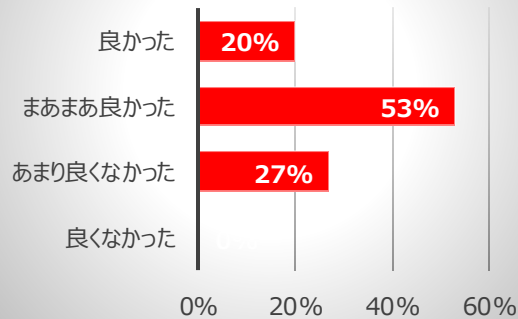
今後は、地域移行が難しい部活動については、部活動を継続させながら合同チーム等で活動し、徐々に地域移行できるように進めていく予定である。

## 2.実証内容と成果②

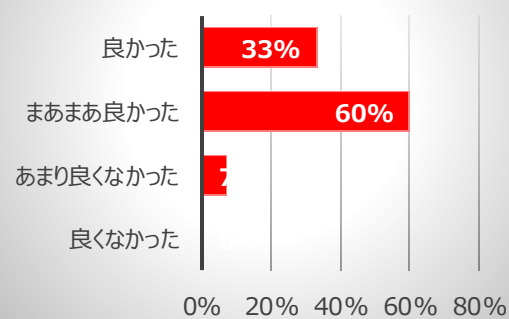
### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

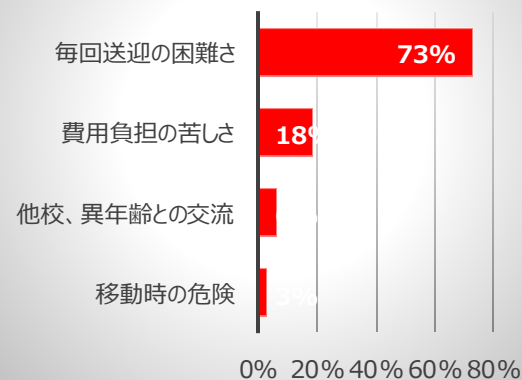
##### 専門家から技術的な指導を受けられたことについて（生徒）



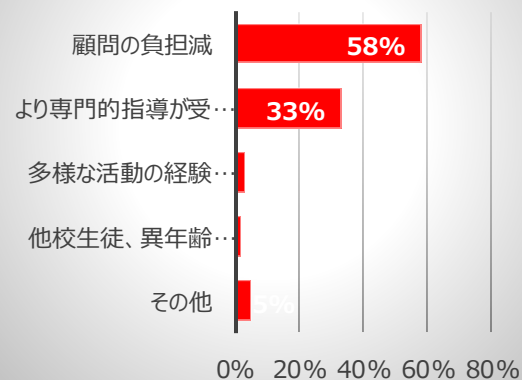
##### 他校生徒や異年齢の人との活動について（生徒）



##### 地域クラブ活動への移行の不安（保護者）



##### 部活動地域移行に期待すること（教員）



#### ●参加者の声

##### 中学1年生

学校の部活動でやっているときは部員がたくさんいるわけではないので、他の学校の生徒もいて一緒に練習できたのがよかった。

##### 中学2年生

他の学校の生徒と一緒に練習ができ、張り合いがありました。また、私は長距離が専門ですが、コーチや高校生からアドバイスをもらったのが良かったです。

##### 顧問

普段の練習では自分1人で指導をしなければならないが、複数指導者がいるので、役割分担ができて助かった。毎週通うのは難しいという意見もあったが、学校での練習と地域クラブとの練習を併用できると良いと思った。

##### 保護者

部活動の生徒以外にもたくさん人がいるので、活動の様子を見学しやすいと感じました。参加してる人が多いと活気があるので、送迎は大変ですが、こういう練習ができるのも良いと思いました。

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年10月

地域部活動検討委員会設置、検討開始

受け皿団体や指導者の選定、拠点校の選定

令和6年5月

学校現場との調整

生徒、保護者への説明

令和6年7月

地域クラブ活動の開始

#### ●ステークホルダー

- ・教育委員会子ども教育課とスポーツ振興課、地域部活動検討委員会のメンバー等

#### ●経過

- ・移行する部活動や内容の検討、アンケートによる教員、保護者、生徒等の意向の把握。

#### ●実施にあたって生じた課題

- ・地域で活動しているスポーツクラブ等が少ない。
- ・指導者不足。
- ・競技の特性による移行の難しさ。

#### ●実施内容、工夫した点等

- ・まずは移行のハードルの低い競技を選び、移行の準備をする。課題について協議をした。

#### ●ステークホルダー

- ・教育委員会子ども教育課とスポーツ振興課、学校、スポーツ団体（指導者）等

#### ●経過

- ・学校、スポーツ団体（指導者）と協議し、活動、日程等について調整した。
- ・生徒、保護者へ説明した。

#### ●実施にあたって生じた課題

- ・毎週、離れた活動場所へ送迎するのは難しいこと。

#### ●実施内容、工夫した点等

- ・無理のない範囲で、両校が参加できる日に参加できるようにした。無理なく参加できるよう配慮した。

#### ●ステークホルダー

- ・教育委員会子ども教育課とスポーツ振興課、学校、スポーツ団体（指導者）等

#### ●経過

- ・学校（顧問）及びスポーツ団体（指導者）と協議し、活動、日程等について、定期的に調整を図った。

#### ●実施にあたって生じた課題

- ・毎週保護者の送迎は、難しいこと。
- ・陸上競技のさらに専門分野については、指導にばらつきがあること。

#### ●実施内容、工夫した点等

- ・定期的に顧問と指導者の間で打合せをもち、活動内容、参加生徒の様子、次の月の活動日程等について、情報交換する場を設けた。

### 3. 今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

●移行が可能な部活動から本格運用へ				
	4月	8月	12月	2月～3月
R6年度	○本格運用部活 ○新規のお試し運用部活 ○学校単独部活	○1学期の実施について検証 ○実施部活動情報交換会	○2学期の実施について検証 ○実施部活動情報交換会	○3学期の実施について検証 ○実施部活動情報交換会
	・未実施部活動との調整	・移行できていない部活動については、受け入れ態勢の再調査から ・本格運用部活動の平日以降について可能か調査		
●さらに移行が可能な部活動の掘り起こしとお試し運用				
	4月～7月	8月～	12月	2月～3月
R7年度	○本格運用部活 ○学校単独部活 ○移行可能な部活動の調査	○総体終了後を目安に、移行可能な部活動のお試し	○お試し運用2学期について検証 ○実施部活動情報交換会	○お試し運用3学期について検証 ○実施部活動情報交換会
	・未実施部活動との調整	・移行できていない部活動については、受け入れ態勢の再調査から		

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 千葉県 いすみ市

自治体名 : 千葉県いすみ市

担当課名 : 学校教育課

電話番号 : 0470-62-3621

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

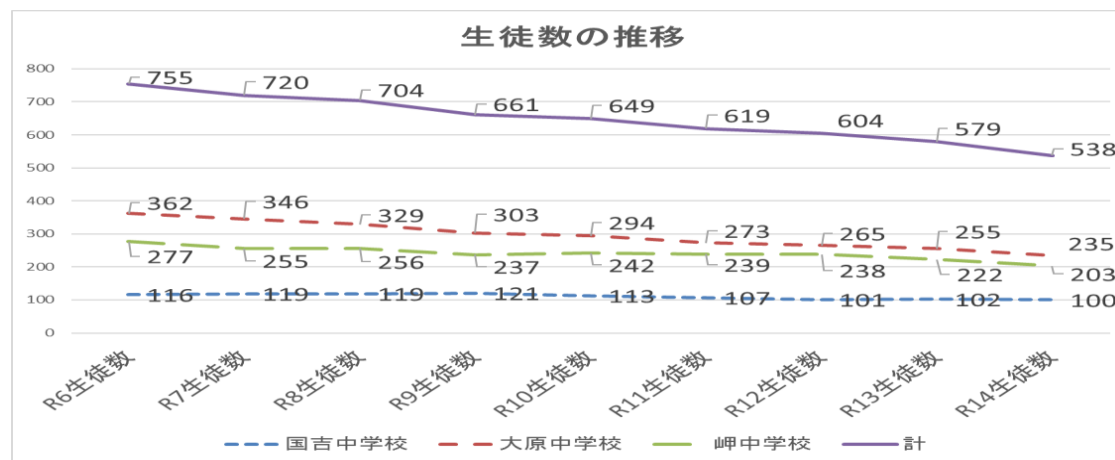
面積	157.5 km <sup>2</sup>
人口	34,631人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	753人
部活動数	24部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

・いすみ市の児童生徒は減少傾向にある。しかしながら、部活動を実施している競技数は従前のままの状態である。本年度、いすみ市スポーツ協会長やいすみ市文化団体連絡協議会長等を委員とする「いすみ市地域部活動推進協議会」を組織し、部活動の現状、活動団体の現状、中学生や保護者へのアンケート調査結果や他地域の状況等について情報共有し、今後の地域移行についての協議を実施している。

令和6年度には、市内で1部活動をモデル部活動として地域移行し、費用や送迎等の保護者負担、指導者の確保や研修等の課題を明

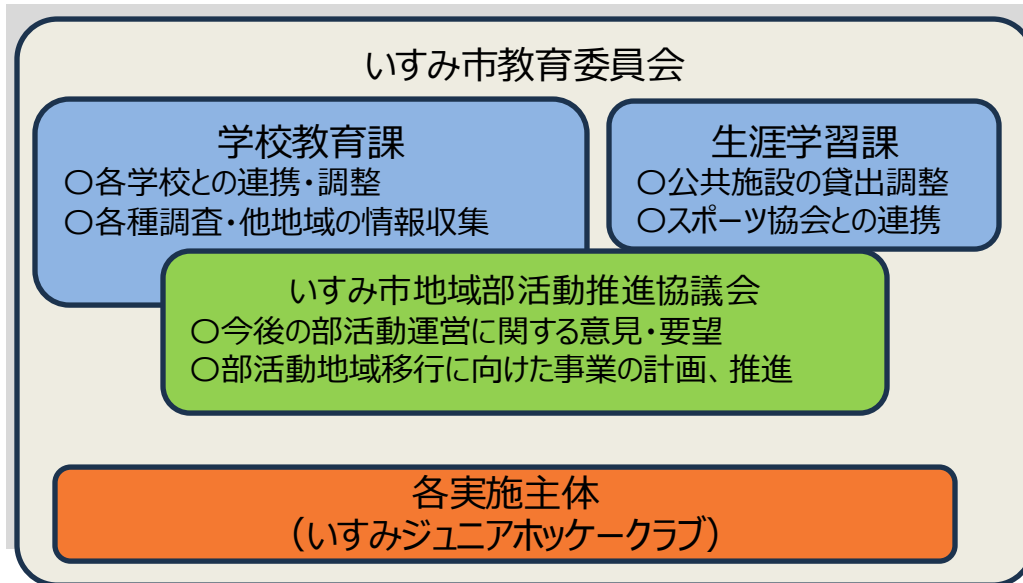
確にし、その対応について「いすみ市地域部活動推進協議会」において協議、改善していく予定である。多くの生徒にとって最良な形で地域移行が進められる方策をモデル部活動の取組により検討していこうと考えている。・現在いすみ市内では、市スポーツ協会等、地域で活動するスポーツ団体があるが、人口の減少等により、休部状態の専門部が多い。市内の中学生を活動対象とするスポーツクラブもない状況である。数少ない受け皿となり得る団体に、どのような働きかけが必要となるか明確にし、市として支援していくことを明らかにしていかなければならない。



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校教育課・・・部活動の主幹、学校との連携・調整、いすみ市地域部活動推進協議会の運営、学校に関する事項について
- ・生涯学習課・・・スポーツ協会との連携

##### ◎首長部局

- ・財政課・・・予算措置

### 年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回協議会の実施
令和6年6月	クラブとの意見交換
令和6年7月	クラブとの調整
令和6年8月	クラブとの調整
令和6年10月	第2回協議会の実施
令和6年10月	実施要綱作成
令和6年10月	ホッケークラブによる休日の活動を開始
令和7年2月	クラブ、指導者への聞き取り
令和7年2月	第3回協議会の実施

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（1 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	8 人	全体の運営スタッフ数	9 人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
いすみジュニアホッケークラブ	地域クラブ	ホッケー	土または日曜 週 1 回	8:30～ 11:30	1年4人 2年11人 3年7人	通年	いすみ市 総合グラウンド	8 人	1 人	なし	例) 中体連：部活動 その他：地域クラブ

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

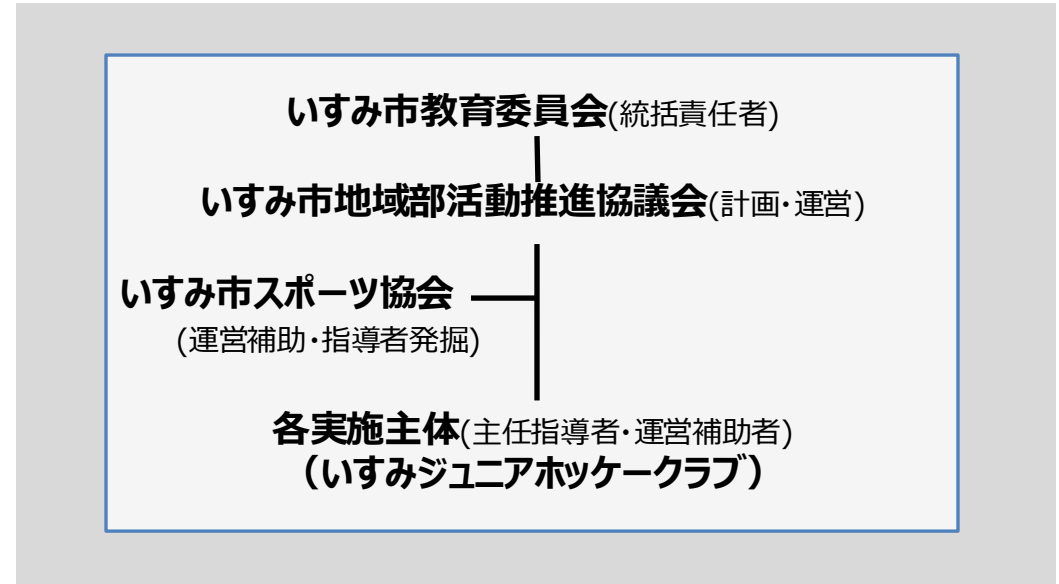
なし

## 主な取組例

### ●いすみジュニアホッケークラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ホッケー
運営団体名	いすみジュニアホッケークラブ
期間と日数	10月1日～2月28日 週1回程度
指導者の主な属性	クラブ指導者 教員の兼職
活動場所	いすみ市大原グラウンド
主な移動手段	保護者の送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者 1名(教育委員会)  
役割：活動における管理者として、学校、クラブとの連携を行う
- 主任指導者 1名  
役割：活動における主任者として、生徒への指導、家庭との連携を行う
- 運営補助者 7名  
役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

関係機関との調整および連携を広域的に執り行う役割を市教委が担い、円滑的な実施体制を整備する。

#### 取組の 成果

- ・いすみ市地域部活動協議会を、市教育委員会が中心となって行うことにより、市スポーツ協会や学校等と連携をスムーズに行うことができ、今後の地域移行について協議することができた。
- ・学校やいすみホッケークラブとの連絡調整、指導者に対する謝金の支払いを円滑に行うことができた。
- ・地域移行の目指す姿、解決すべき課題、進め方等が、より明確になった。
- ・近隣市町と連携した地域移行についての必要性について関係者間で共有し一歩踏み出すことができた。

#### 特に工夫 した事項

- ・市の現状を踏まえた持続可能なスポーツ・文化環境を構築するため、協議会委員については以下の人材を取り入れた。  
○各校PTA会長 ○市スポーツ協会長 ○市スポーツ少年団長 ○市文化団体連絡協議会長 等
- ・市ホッケー協会、市生涯学習課等と連携し、よりよい体制について協議を重ねることができた。

#### 今後の 課題と 対応方針

- ・次年度は、より学校の状況を反映させられるよう、委員の構成については部活動担当教員等、実際に指導している立場の方を加えることにより、学校の状況について地域に発信していけるようにしたい。
- ・近隣市町からの生徒の受け入れや、大会への参加について検討事項が増えることが予想される。そこで、関係団体や関係機関とより密接に連携しながら、情報収集に努め、協力できる体制づくりに努めたい。
- ・協議会での協議内容について、地域や保護者に情報提供することで、地域移行について理解を得ていきたい。

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

関係機関との調整および連携を広域的に執り行う役割を市教委が担い、円滑的な実施体制を整備する。

#### 取組の 成果

- ・いすみ市立中学校地域部活動実施要綱を整備し、地域移行を進めるための一歩を踏み出すことができた。
- ・兼職・兼業についての手続き整備を行い、ホッケー競技において指導者の確保につながった。

#### 特に工夫 した事項

- ・実施要綱を作成する際、特定競技を対象とするものでなく、どの競技にも適用できるようにした。
- ・兼職・兼業については、確認事項を明確にした。また、近隣市町と情報共有した。

#### 今後の 課題と 対応方針

- ・要綱整備により、競技団体、指導者との調整ができ次第、地域移行できるようになっている。地域移行の可能性のある競技団体、指導者との調整を図っておく必要がある。各中学校、スポーツ協会と連携し、競技団体、指導者の確保に努める。
- ・競技団体が複数ある種目については、地域部活動と位置付けるための基準を設定することが必要になる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保証・量の確保

##### 取組事項

生徒の安全確保に加え、暴言やハラスメントなどの行為の根絶を求めるほか、部活動の意義や役割を理解するための研修の実施を促進する。

##### 取組の成果

・市部活動ガイドラインを指導者に配布し、部活動の意義や役割についての理解が深まるように努めた。また、不適切な指導が行われないよう、具体的に指導者に伝えることで、不適応やトラブルを防止することができた。

##### 特に工夫した事項

- ・熱中症予防に関する研修会や指導者講習会の開催について情報提供を行った。
- ・研修会に事務局員が参加し、研修資料の提供を行った。

##### 今後の課題と対応方針

- ・指導者が多くなるに従い、集合での研修の実施、研修内容の細かい周知が難しい。より子供が安心して活動に取り組めるよう、次年度は指導者と対面での研修を複数回実施していきたい。
- ・スポーツ協会と連携し、指導者の研修会を計画し、指導者の確保と育成を図りたい。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

いすみ市は、人口減少、少子化がこれからも進んでいる。現在3校の中学校があり、部活動を実施しているが、部活動数は従前のままとまっている。この状況が続けば、各中学校での部活動においては、子供たちの満足な活動は維持できない。子供たちが活動できる環境を継続的に維持していくためには、地域の協力とともに、環境の整備が喫緊の課題となっている。

令和6年度、ホッケー競技において地域移行を実施するにあたり、実施要綱の整備、兼職兼業の手続き整備を進め、他競技における地域移行を進める第一歩を踏み出すことができた。競技団体や市スポーツ協会との連携を密にすることにより、トラブルや事故なく円滑に運営することができた。本年度は、国の部活動の地域移行に向けた環境整備事業実証事業補助金を活用し、保護者の負担を極力かけずに行ったものである。市の負担、保護者の負担等をより明確にすることができ、また、課題について明確にすることができ、今後の環境整備や保護者、地域、関係団体、指導者等への理解を得るための検証ができたと考えられる。

#### ●成果の評価

- ・いすみ市の部活動地域移行について市教育委員会が中心となって行ったことは、関係各所との連携、事務手続きを進めるには大変有効であったと考える。
- ・いすみ市立中学校地域部活動実施要綱や兼職・兼業についての手続き整備を行い、他の競技の地域移行を進めるにあたり、第一歩を踏み出した。
- ・実施要綱や兼職・兼業の手続きを整備することにより、新たな競技団体や指導者の確保を進めることができると考える。
- ・ホッケー競技において地域移行したことを地域に周知し、いすみ市でも地域移行していくことを発信する必要がある。

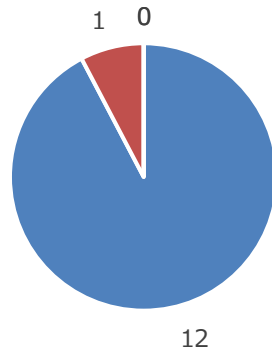
#### ●今後に向けて

- ・各学校、スポーツ協会と連携し、地域移行の可能性のある競技団体、指導者を見出し、年度途中からでも調整を図る体制を確認する。
- ・競技団体が複数ある種目については、地域部活動と位置付けるための基準を設定する。
- ・保護者や地域にどのように周知し理解を求めていくか検討する。
- ・令和7年度は、各中学校において、1部活動を地域移行する。

## アンケート結果・参加者の声

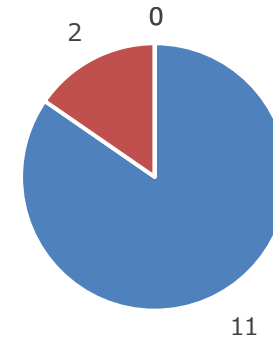
### ●アンケート結果

現在指導している指導者の指導力について



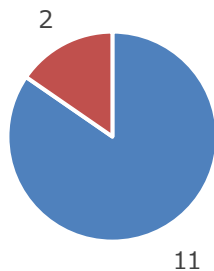
■ 満足している ■ 概ね満足している ■ 概ね不満 ■ 不満

引き続きクラブの指導を受けたいですか



■ 受けたい ■ 概ね受けたい ■ 概ね受けたくない ■ 受けたくない

顧問の先生が練習にいないことに不安はありますか



■ ない ■ 概ね安心

### ●分析

- ・現在指導している指導者の指導力に概ね満足している様子が見える。
- ・ジュニア（小学生）ホッケー教室や体験会等で指導者と関わってきた生徒が多く、指導者やクラブについての不安が少ないと考えられる。
- ・顧問も指導者（兼職・兼業届済み）として参画しており、他の指導者と連携が取れている。

### ●参加者の声

#### 参加生徒

ホッケーをする時間がとても楽しい。上手になっている気がする。指導してくれるコーチも丁寧に教えてくれるので安心できる。

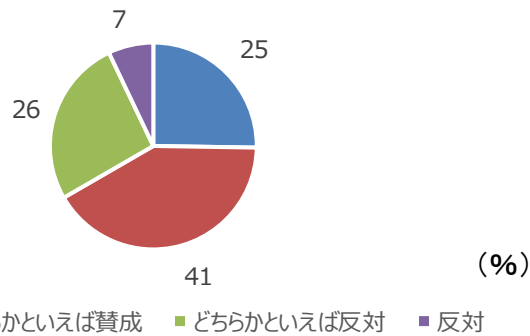
#### ホッケー部顧問

自分が参加することができないときに練習をしてくれて助かる。コーチと指導内容について、細かく連携している。

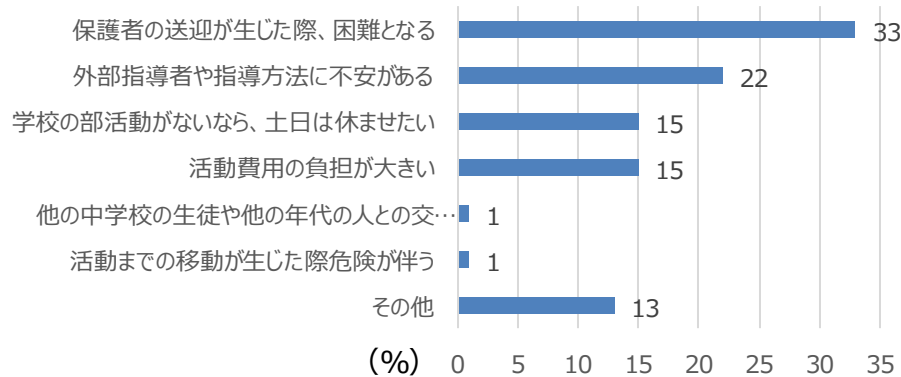
## アンケート結果（保護者）

### ●アンケート結果（回答272名）

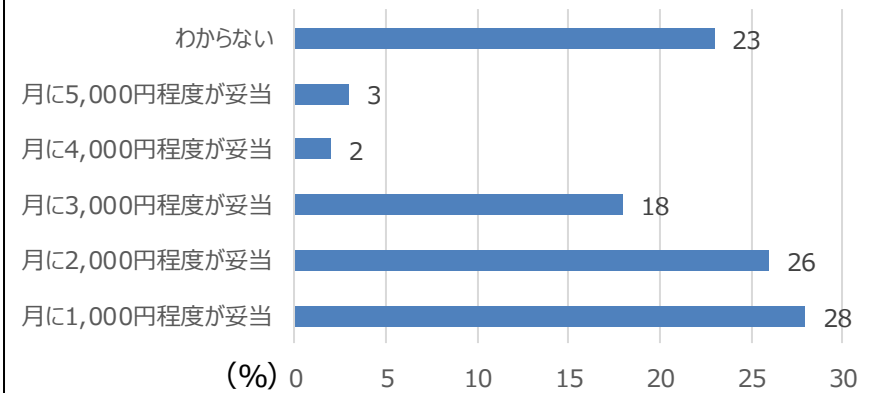
休日の部活動を地域のスポーツクラブや他の団体に移行していくことについて、どう考えますか。



地域移行に反対、どちらかというと反対と答えた方は、理由を教えてください。



保護者の費用負担額についてどう考えますか



### 分析

- ・地域移行に肯定的な保護者の割合が高い。賛成の主な理由は、「より専門的な指導を受けることができる」であった。
- ・反対している保護者の理由は、送迎や指導者への不安や費用負担が上位を占めている。その他は、学校の先生に指導してもらいたいという意見が占めた。
- ・費用負担については、半数以上が2,000円程度以下と考えている。
- ・本市は市域が広く、公共交通機関が乏しい。自転車で通えない範囲で実施される場合、保護者の負担が大きくなることが考えられる。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【ウォーミングアップ】



【実戦練習】



【基本練習】



【練習場】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

協議会設置、  
検討開始

アンケート調査  
実施

令和5年

いすみ市地域  
部活動協議会

生徒、保護者へ  
の説明

令和6年

ホッケー競技  
地域クラブ活動  
の開始

令和7年

地域クラブ活動  
の拡大

#### ●協議会設置検討開始

いすみ市部活動地域移行協議会設立に向けての意見交換会の実施

#### ●参加者

いすみ市スポーツ協会長  
いすみ市スポーツ少年団長  
いすみ市立中学校長会長  
いすみ市PTA連絡協議会長  
いすみ市文化団体連絡協議会長  
いすみ市スポーツ推進委員長  
協議会構成員の検討、いすみ市の部活動や各立場から現状を情報提供。子供たちのスポーツ活動等の環境を整備していく必要があることを確認し、令和5年度から協議会を実施することを決定した。

#### ●いすみ市地域部活動協議会

令和5年度から協議会を実施  
協議会構成員

- ・市スポーツ協会長
- ・市スポーツ推進委員長
- ・市スポーツ少年団長
- ・市文化団体連絡協議会長
- ・いすみ市立中学校長
- ・いすみ市立中学校PTA会長
- ・いすみ市教育委員会

#### 協議内容

本市における地域部活動の望ましい在り方。方針および計画、取組内容の検討等。

#### ●アンケート調査

対象 中学生、保護者、スポーツ協会所属各団体、各スポーツ少年団

#### ●ホッケー競技の地域移行

- ・学校、顧問との調整
- ・競技団体への聞き取り説明
- ・競技指導者への周知
- ・参加生徒、保護者への周知
- ・地域部活動実施要綱の整備
- ・教員の兼職・兼業手続きの整備

#### ●10月から地域移行開始

令和7年度は各中学校で1部活動の地域移行を予定している。また、令和7年度からコミュニティスクールを導入していく予定である。各中学校区における競技団体や指導者等確保に、部活動地域移行の周知を行う予定である。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
国	改革推進期間		改革実行期間
会議体	いすみ市地域部活動協議会		
検討・協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行の基本方針検討</li> <li>・実証事業（国）の検討</li> <li>・運営団体・実施主体の確保</li> <li>・兼職兼業</li> <li>・指導者の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進計画の策定</li> <li>・地域連携の推進</li> <li>・実証事業（国）の検討</li> <li>・費用負担の在り方</li> <li>・指導者の確保（部活動指導員の確保含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進計画に基づいた地域連携の推進</li> <li>・実証事業（国）の検討</li> <li>・費用負担の在り方</li> <li>・指導者の確保（部活動指導員の確保含む）</li> </ul>
実施部活動	・ホッケー	・サッカー 陸上競技 テニス	・休日部活動地域移行の段階的推進
指導者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いすみジュニアホッケークラブ</li> <li>・教員の兼職兼業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域指導者</li> <li>・教員の兼職兼業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域指導者</li> <li>・教員の兼職兼業</li> <li>・部活動指導員等の活用</li> </ul>